

国立大学法人島根大学役員会（第408回）〈議事要録〉

日 時 令和6年6月4日（火） 14:00 ～ 15:03

場 所 本部棟5階 大会議室（TEAMS 利用）

出席者 大谷学長，増永理事，松崎理事，金山理事，椎名理事，大川理事，宮脇理事，上野理事

オブザーバー 千家監事，栗原監事

〔陪席：事務局次長，企画部長，研究・地方創生部長，教育・学生支援部長，総務部長，財務部長，松江地区学部等事務部長，医学部事務部長，監査室長事務取扱〕

議決事項1 SDGs推進会議設置に伴う学長室規則の一部改正について

- 増永理事から資料に基づき，SDGs推進会議設置に伴う学長室規則の一部改正について説明があった。
- 栗原監事から，取組に対する成果をどのように評価するのかとの質問があり，学長から，他大学が開発した外部評価システムを利用して活動状況を評価すること，また，数値目標としてSDGsに対する学生意識調査の関心度向上を掲げるほか，中期目標・中期計画の中でSDGs推進のための研究テーマを選定し，テーマに沿った発表論文の数を具体的な目標として掲げていることについて説明があった。
- 審議の結果，原案どおり議決された。

議決事項2 情報の公表規程の一部改正について

- 増永理事から資料に基づき，情報の公表規程の一部改正について説明があった。
- 栗原監事から，同じ条の中に「別表に掲げる」「別に定める」との規定があるが，どちらかに合わせる形でシンプルにできないかとの質問があり，大川理事から，法令に基づく事項は別表として規程の中に盛り込み，法令外の事項は別に定めるとして要項に規定し，その後の見直しに柔軟に対応できるようにする趣旨で原案のような改正としているとの回答があった。
- 審議の結果，原案どおり議決された。

議決事項3 支援基金規程の一部改正について

- 金山理事から資料に基づき，支援基金規程の一部改正について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

議決事項4 令和7年度概算要求における施設整備事業について

- 大川理事から資料に基づき，令和7年度概算要求における施設整備事業について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

議決事項5 令和6年度安全保障技術研究推進制度への応募について

- 学長から資料に基づき，令和6年度安全保障技術研究推進制度への応募について説明があった。
- 上野理事から，研究テーマが兵器の開発につながるような技術ではなく，手続きについても規則に則って審議されており問題はないと考えるとの意見があった。
- 宮脇理事から，今回の件は基本的に問題はないと考えるが，安全保障が経済分野にも拡大する中で，今後はマテリアル関連の研究についても軍事転用に注意すべきであるとの意見があった。
- 千家監事から，今後，同様の事案が発生することが見込まれるため，研究マネジメント委員会における付帯事項を整理し，議論を重ねて方針を決定すべきであり，その際にトップダウンではなく，研究者が自主的に関われるような環境が重要であるとの意見があった。

- 栗原監事から、研究に対する専門的な知識を持った方の見解に基づき、しかるべき手続きに沿って進められていると認められるとの発言があった。
- 審議の結果、原案どおり議決された。

議決事項6 先進医療電磁工学共同研究講座の設置期間の更新について

- 学長から資料に基づき、先進医療電磁工学共同研究講座の設置期間の更新について説明があった。
- 千家監事から、設置期間の更新に際し、現行の契約書とは別に新たに書面を交わすのかとの質問があり、学長からご認識の通りとの回答があった。続けて、千家監事から、添付資料について、今後は押印不要の様式に改めるよう意見があった。
- 審議の結果、原案どおり議決された。

報告事項1 令和6年度会計監査人の選任について

- 監査室長事務取扱から資料に基づき、令和6年度会計監査人の選任について報告があった。

報告事項2 全学委員会の議事報告について

- 資料に基づき、書面による報告があった。

その他

- 宮脇理事から、昨今、若年層を中心に転職を繰り返すことに抵抗がなくなる風潮にあるが、良い国をつくり次世代に引き継ぐためにも、原点を見つめ直し、一生懸命に働くことが重要であるとの意見があった。
- 上野理事から、獣医師不足の解消に向け島根県と他大学が協定を締結した件に関連して、本学においても医師だけでなく特定のスキルを持つ人材の育成を図り、そうした人材が不足している地域に対してサポートをしていただきたいとの意見があった。